

1型糖尿病「治らない」から「治る」
—“不可能を可能にする”—
を応援する

100人委員会趣意書

1型糖尿病を発症すると患者と家族は「治らない」ことで絶望します。

しかし、医学・医療の現場では「治る」ことの実現に向けた挑戦が続いています。

特定非営利活動法人日本IDDMネットワークでは、2005年8月に1型糖尿病根治に向けた研究開発を促進する目的で「1型糖尿病研究基金」を設立しました。

日本IDDMネットワークは、法人化10周年を契機に「治らない」から「治る」というミッションを新たに掲げ、行政に依存することなく当事者主導による社会変革に向けて挑戦を始めています。

日本IDDMネットワークが手本としたアメリカのJDRF (Juvenile Diabetes Research Foundation International 米国1型糖尿病研究基金) は、年間200億円以上の資金を集め、研究資金を提供しています。

一方で、日本IDDMネットワークは基金設立以来5年間でようやく5件500万円の研究費助成となっています。

これは、米国と日本との寄付文化の違いというだけなのでしょうか。

私たちは、1型糖尿病「治らない」から「治る」—“不可能を可能にする”—という取り組みに対して“国民参加”を訴えるべく、ここに100人委員会を設立いたします。

100人委員会の役割は、

- 不可能を可能にするこの取り組みを“社会に発信”すること
- 不可能を可能にするこの取り組みの“戦略に助言”すること
- 不可能を可能にするこの取り組みに“参加”し患者と家族に勇気を与えること

です。

この「治らない」病気が「治る」という社会変革への挑戦を応援してください。

2011年1月31日

発起人代表

井上 龍夫	特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク理事長
鷗尾 雅隆	特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会常務理事
小川 渉	ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社代表取締役社長兼CEO
川北 秀人	IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所]代表
クラウド アイラセン	ノボ ノルディスク ファーマ株式会社代表取締役社長
黒田 祐	株式会社富山グラウジーズ代表取締役社長
後藤 昌史	東北大学未来科学技術共同研究センター教授
島田 隆	日本メドトロニック株式会社代表取締役社長
中内 啓光	東京大学医科学研究所幹細胞治療研究センター長
西川 伸一	理化学研究所発生・再生科学総合研究センター副センター長
松本 慎一	米国バイラー-際島細胞研究所ディレクター

以上、五十音順